

# 令和5年度（第4回）インターネット市民意識調査 結果報告

## 1 調査概要

調査地域： さいたま市  
 調査対象： さいたま市在住の18～69歳の男女  
 18歳から69歳までの5年代層において、各年代の男女各100サンプル、合計1,000サンプルに回答を得た。  
 調査方法： インターネット調査（調査会社の登録モニターによるWEB調査）  
 実施時期： 令和6年2月2日（金）～2月7日（水）  
 調査項目： 「動画による広報」「さいたま市出前講座」「区役所における窓口サービス」「福祉まるごと相談窓口」「食品ロス」「インターネット上における誹謗中傷等」

概要版

## 2 主な調査結果

★動画で知りたいさいたま市の情報は。  
 （上位5項目）（報告書P.12、複数回答）

1	イベント情報	49.9
2	行政サービス	41.0
3	災害情報	36.3
4	公共施設の情報	32.7
5	地域密着の情報	30.9

(n=1,000) (%)

★さいたま市出前講座で興味のあるテーマは。  
 （上位5項目）（報告書P.20、複数回答）

1	税金・手続きに関するテーマ	36.7
2	防災に関するテーマ	32.8
3	福祉・健康に関するテーマ	22.7
4	市の施設に関するテーマ	21.0
5	まちづくりに関するテーマ	20.7

(n=1,000) (%)

★ふだん食品ロス削減のためにやっている工夫は。  
 （上位5項目）（報告書P.32、複数回答）

1	食べきれぬ量だけ買うようにしている	58.2
2	食材が傷む前に食べきるようにしている	44.6
3	冷蔵庫などを整理し、家にある食品を把握している	41.5
4	外食時に食べきれぬ量だけ注文している	39.5
5	余った食材も調理して使いきるようにしている	37.1

(n=1,000) (%)

★インターネット上の誹謗中傷等への対策として、力を入れるとよいと思うものは。  
 （上位5項目）（報告書P.35、複数回答）

1	警察等の他機関との連携促進	45.4
2	法律相談や心理相談等の相談窓口の開設	42.8
3	被害を受けた際に利用できる支援機関等に関する周知	39.6
4	インターネット上における誹謗中傷等対策に関する条例の制定	35.1
5	インターネットの特性を正しく活用する能力（インターネットリテラシー）の教育・啓発	29.4

(n=1,000) (%)

★「休日窓口」の認知度は、全体の64%。（報告書P.26）

★「福祉まるごと相談窓口」の認知度は、全体の22%。（報告書P.28）

詳しくは、市ホームページで、報告書本編をご覧ください。  
<https://www.city.saitama.jp/006/002/004/p017090.html>  
 トップページ>市政情報>広聴・市民参加・アンケート>市民アンケート>  
 さいたま市インターネット市民意識調査

R6.3月  
 さいたま市長公室  
 秘書広報部広聴課  
 企画係